



第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

VOD-09 「環境に左右されない Case report アクセプトへの道！明日から君の名も PubMed に！」

【講師】

國友耕太郎（国立病院機構熊本医療センター 総合診療科）

本田 優希（聖隸浜松病院）

宮上 泰樹（順天堂大学医学部）

合田 建（神戸大学地域医療支援学部門/兵庫県立丹波医療センター）

「症例報告を書いたことがない」、「書きたいけど指導医が近くにいない」、「上級医の指導で書いたが、系統立てて学び直したい」など、症例報告作成の初級から中級にかけて、それぞれの段階で障壁があると予想される。

このワークショップでは、それらの障壁にぶつかっている、どの方でも収穫が得られるように、各段階を解決してきた当チームのメンバー3名が、リアルな体験を語り、症例報告作成からアクセプトまでを追体験できるものである。

幅広い分野にまたがるプライマリケア領域において、Case report・Clinical image となる症例は多く存在する。本ワークショップの目的は、受講後に、日々の臨床に真摯に取り組むプライマリケア領域の先生方が、「Case report・Clinical image を書いてみよう！」と一步を踏み出せるようになることである。また、ワークショップ参加者からメンティーを若干名募り、新規の症例報告作成を目指す。本企画はJPCA若手医師部門病院総合医チームが主催する。